令和7年度〔 自己評価報告書 〕

学校番号	学 校 名	校 長 名
57	川崎市立新作小学校	高木　栄二

学 校 教 育 目 標	今年度の重点目標
学校教育目標を本校のめざす子ども像の具現化と捉え、児童の実態や学年の発達段階に応じた取り組みを工夫し、きめ細かな指導や教育活動の充実を図る。 【本校のめざす子ども像】 「大地に根ざし、なかよくのびる　すくすく麦っこ ・自ら学び進んで創造する子 ・思いやりのある明るい子 ・健康でたくましい子	「基礎基本の定着」「確かな学力の育成」をめざし、「よくわかる授業」「生き生きと学ぶ楽しい学習」を進める。また、子どもたちが「安心・安全な学校生活」を送るために、安全指導や防災教育、道徳及び命・心の教育、共生共育等に重点を置き、児童支援活動の充実を図り、子どもたち同士が互いに尊重し合い、協力し合って活動する学校づくりに取り組む。 (1)いじめの傍観者をつくらない未然防止と例外のない早期解決に向けた取組。不登校児童生徒の学習支援の拡充。 (2)「確かな学力の育成」に取り組む。「基礎・基本の定着」「よくわかる授業」「生き生きと学ぶ学習」等の授業づくりに取り組む。 (3)高学年における教科担任制の実施と教員の専門性を生かした配置。 (4)「安心・安全な楽しい学校生活」に向け、児童支援体制の充実を図る。

評 価 項 目		具 体 的 な 取 組	成 果 と 課 題	具 体 的 な 改 善 策
1	①なかよく学ぶ子 (1)基礎・基本の定着 (2)確かな学力の育成 (3)よく分かる授業・生き生きと学ぶ学習	(1)基礎・基本の定着に向けたきめ細かい指導 ○少人数指導(習熟度に応じた指導)や協力指導、専科指導の充実を図る。 ○取り出し指導や入り込み指導の実施。 (2)確かな学力の育成を図る取組 ○ALT(5・6年)や中核英語教員(3・4年)・英語中核教員及び外国語活動講師(1・2年)による外国語活動や英語学習への取り組みの充実を図る。 (3)よく分かる授業・生き生きと学ぶ学習に向けた授業づくりや新学習指導要領の趣旨を先取りした取組 ○主体的・対話的で深い学びに向けて、児童が積極的に友だちと関わり合いながら学び、自己の考えを深めることができる授業づくりを推進する。 ○教材研究の時間を確保し、職員研修の充実を図る。	○個別支援及び指導や集団の中での個に応じた指導及び支援のニーズは多数あるが、協力指導や指導の手立てによりさらに成果を上げた。 ○担任の外国語の指導力、児童理解力が着実に向上しており、外国語指導を充実させることができた。教職員が外国語への関心を高め、研鑽している。 ○教材研究日をより多く設け、放課後の時間で教材研究や校内研修を行い、その成果を授業づくりに生かすことができた。取り組むべき内容が多いが、さらに継続した実践が必要である。 ○主体的・対話的で深い学びについての職員研修を計画的に行い、教職員の認識をさらに深めていくことが重要である。	○GIGA端末や資料のデータ化を図り、計画的効果的な学年会を充実させ、わかりやすい授業のあり方を常に研究し、年間指導計画をもとに毎週毎月の取り組みを充実させる。 ○個別的指導を継続的に実施することで低学年から学習の遅れに対応した指導を行う。 ○教材研究日を増やし定期的に設け、職員相互における研修の活性化を図る。校内職員の教え合い、学び合いによる授業力向上をめざす。 ○児童の話し合い活動や表現活動の在り方について、外部講師を招くなどの職員研修を実施する。 ○小学校教育研究会や総合教育センターの教育課程授業研究研修内容を実践し、校内に伝達していく機会を設ける。
2	②考えて行動する子 (2)確かな学力の育成 (3)よく分かる授業、生き生きと学ぶ学習 (4)安心・安全な楽しい学校生活	(3)よく分かる授業、生き生きと学ぶ学習に向けて、児童の主体的な活動や思考力・判断力の育成を図る。 ○読書活動の充実やキャリア在り方生き方教育の実践等を通して、思考力・判断力の育成を図る。 ○音楽活動の充実を図り、情操教育の充実や表現力の育成を図る。 (4)安心・安全な楽し学校生活に向けて、児童理解、児童指導の充実を図る。 ○子どもたちの人間関係づくりに配慮した学級経営や学年経営を実践し、いじめや不登校を未然に防止する取り組みを進める。 ○「共生＊共育プログラム」「効果測定」を活用した実践や児童支援コーディネーターによる支援体制の構築	○読書活動を定期的に行い、児童の情操や思考判断を高めることができた。図書室利用も多く、文章を読み、考える力が育っている。さらに、図書室活用の活性化を図ることが課題である。 ○規範意識が高く、落ち着いた行動で生活できる児童が増えている。特に高学年の児童によく考えて行動する雰囲気があり、大きな成果を得ている。 ○共生共育の実践や児童支援コーディネーターによる支援体制が充実し、いじめ・不登校等の課題に対しても、適時、迅速に対応することができた。	○読書活動の充実に向けて、さらに取り組みを継続していきたい。学校司書や図書担当の職員を中心に、子どもたちの図書室利用を活発にする方策を検討する。 ○キャリア在り方生き方教育の実践を進め、将来の夢や希望を育む教育活動を進める。 ○中小ステージ等の催しを継続し、音楽指導や道徳及び教科の指導を通して、情操教育や表現力を育くむ。 ○さらに安心・安全な学校生活を送るために、「中野島小のやくそく」についても、児童が自ら積極的に守ろうとする規範意識を高める活動を行っていく。 ○児童会活動による自主的な活動「あおいはこ運動」(あいさつ運動)「あかいみ運動」(安全運動)を活性化する。 ○人権尊重教育・福祉教育等の充実を図る。
3	③のびのびとたくましい子 (3)よく分かる授業、生き生きと学ぶ学習 (4)安心・安全な楽しい学校生活	(3)分かる授業、生き生きと学ぶ学習に向けて、体育学習や保健指導等の充実を図る。 ○健やかな体を育む活動、キラキラタイムや体力テスト、体育学習の充実を図る。 ○「スポーツフェスタ」に向け、全校で協力して取り組み、児童の体力向上や運動への意欲向上を図る。 (4)安心・安全な楽しい学校生活 ○健康安全に関心を持ち、進んで基本的な生活習慣を整えることができるよう、自己管理能力を高める。 ○防犯、防災教育の充実を図り、学校生活のきまりを進んで守ろうとする規範意識の向上を図る。	○体育授業における運動量の確保や関わり合いを大切にした授業づくりを進め、児童の体力向上や運動能力の向上を図ることができた。 ○キラキラタイムや体力テスト、スポーツフェスタ等の取り組みを組織的に運営し、児童が主体的に関わり、進んで体力向上に取り組むことができるよう、実践することができた。 ○感染防止対策、保健指導や健康管理に関する学習の充実を図り、手洗い・うがい・教室換気などの取り組みを児童が主体的に取り組み、その成果が見られた。 ○防災、防犯教育や交通安全教室等について、計画的に実施し、学習の充実を図ることができた。	○体育授業に向けた準備や学習計画を学年内で教材研究を行い、児童が生き生きと運動し、体力向上を図ることができる授業づくりを進める。 ○キラキラタイム、スポーツフェスタ等の活動を職員の組織的な連携で計画し、今後も児童が主体的に関わりながら実践することができるようにする。 ○保健安全指導の充実を図り、児童会の活動に安全指導を取り入れながら、健康安全に向けた意識向上を図る。 ○防災、防犯、交通安全等について、各学年の実態に応じて、適時行い、避難訓練等の学校全体の取り組みも、さらに工夫し、充実を図る。
4	④自然を愛し思いやりのある子 (2)確かな学力の育成 (3)よく分かる授業、生き生きと学ぶ学習	(2)確かな学力の育成をめざして、自然や地域、環境や産業等について学び、豊かな知識を得る。 ○生活科や理科、社会科、総合的な学習で、自然や地域を学習の題材として、理科的、科学的な視点や社会的な視点で観察や考察を行い、確かな学力の育成と自然環境に対する慈愛や思いやりの心を育む。 (3)分かる授業、生き生きと学ぶ学習をめざして、体験学習や校外学習の充実を図る。 ○麦づくりや夏野菜づくり等、体験的な学習や校外学習等を計画的に行い、体験の基づいた豊かな知識と自然事象を深く考える思考力を育む。	○生活科や理科、総合的な学習を各学年の指導計画に沿って体験的に実践し、経験や体験の基づいた確かな学力を育むことができた。 ○本校のシンボルである麦をはじめ、地域の方々の協力により、野菜栽培に取り組むことができ、児童にとって貴重な経験となった。地域における学習や植物の栽培を通して、福祉や命・心の教育の推進に繋げることができた。 ○各学年の校外学習を計画するにあたり、日程の調整等に多少困難はあるが、実際の体験や経験が子どもたちにとっては、教育的効果が大きいと把握している。	○校外学習の時期や日程調整、学習内容等を見直し、有益な学習を継続できるよう配慮する。場合によっては、リモートで行える見学等も取り入れるようにする。 ○地域や学習協力者のリストを作成し、地域や学習協力者、校外学習機関等との連絡が丁寧に進められるようにする。 ○地域や自然を題材にした学習の進め方を工夫し、より一層児童が主体的に関わり、興味関心を持って学習に取り組めるように、さらに工夫を加えながら充実した活動を実践する。 ○道徳教育を通して、思いやりや優しさ、郷土愛などについての豊かな心を育む。
5	⑤まじめにやり遂げる子 (2)確かな学力の育成 (4)安心・安全な楽しい学校生活	(2)確かな学力の育成をめざして、粘り強く考え、最後までやり遂げる達成感のもてる学習を実践する。 ○どの教科でも学習のねらいに即した「考える力」「表現する力」の育成を図る。 (4)安心・安全な楽しい学校生活 ○安心・安全な楽しい学校生活を送るために、委員会活動などの常時活動の活性化を図る。 ○給食指導や清掃指導、廊下歩行や特別教室の使い方等、学校生活のきまりを守って安心・安全に楽しい生活ができるよう指導の徹底を図る。	○全学年で基礎的・基本的な学習に粘り強く取り組み、最後までやり遂げる経験を重ね、児童の自己実現を図った。 ○朝会での講話や児童指導、学級指導で真面目に取り組むことの大切さや一人ひとり目標をもって自分自身を見つめ高めることへの意欲喚起を図ることができた。 ○給食指導や清掃指導の特別活動をはじめ、学校生活のきまりなどを守る学級指導を丁寧に行い、学校全体として落ち着いた学校生活の実現を図ることができた。	○継続して、児童の実態に応じてわかる授業の展開と基礎・基本の定着をめざす。同時に児童が自ら粘り強く目標や課題に向かって学習に取り組み、成就感を味わうことのできる授業づくりを進める。 ○スポーツフェスタなどの学校行事や学年の行事の充実を図り、その喜びと意欲によって児童が主体的に運営や進行に関わり、協力し合って催しを成し遂げる取り組みを継続する。 ○学校や社会のきまりを遵守し、よりよい生活を送ろうとする意識を育てる。自尊心を深め、児童が学習や生活に自信をもって行動できるように支援する。 ○清掃や給食指導、係活動や委員会活動の充実を図る。 登下校の安全や防災、防犯、交通安全の指導を継続する。
6	⑥いじめのない安心安全な学校	管理職・教務主任・支援コーディネーターを中心にした日常的な連携と、「かわさき教育プラン」に基づいた対応の徹底　いじめの傍観者を作らない学級づくり	定期的にいじめ対策会議を開催し、迅速な聴き取りと指導、保護者への報告に取り組んだ。「いじめ」の三者「加害者・傍観者・当事者(被害者)」をつくらない意識付けにより児童からの情報提供が増えた。いじめを受けた児童の聴き取りを行う対応	日常的な道徳教育に加え、差別や偏見をなくし、多様性を認め合える人権教育を推進していく。
7	⑦特別支援教育の理解と推進	児童の社会的自立を目指した交流支援と、個別最適な学びを提供する。	支援を必要とする児童の個別最適な学びを考え、保護者の協力を得ることができた。　さらに社会的自立への目標設定を意識していきたい。	特別支援教育の研究者との連携による教育課程の監修と職員研修、保護者が相談しやすい環境づくりを進めていく。
8	⑧ゆとりをもって児童に向き合うための教職員の働き方改革	保護者・地域の協力の要請、専科教員・非常勤講師配置により、児童に向き合い、授業準備に集中できる環境づくり。	全教職員との管理職面談を年間2回以上に渡り、勤務時間内に実施しフォローした。土日PTA行事への参加方法などを含め、保護者の理解と協力が得た。地域指導員のリーダーシップによる施設開放を推進した。	校務分掌の徹底的な整理と精選。文書の電子化、定例会議に頼らない情報共有の方法を模索している。　教職員相互のコミュニケーションの広がりと深まりは意思疎通を円滑にした。

学 校 関 係 者 の 評 価	学校運営のまとめ
今年度の教育活動の状況と成果を学校関係者から評価していただいた。学校評価報告はコミュニティスクールの中で、校長室で対面して行うことができた。比較的規模の大きい学校であるが、児童の様子が学校全体として落ち着いていることや高学年に従い、成長に伴う学年での自覚が高まり、学校としてバランスよく教育活動の成果が表れていると認めていただいている。毎朝、正門や地域の横断歩道には校長が立ち、業務職員、地域支援者が学校周辺に立ち、支援教育コーディネーターが昇降口に立ち、登校の見守りと挨拶の声かけをして活動した。児童の登校支援と保護者とのコミュニケーションが成果を上げるきっかけとなった。今後も学校関係者の意見を取り入れ、次年度の教育活動に生かしていきたい。	学校教育目標の実現に向けて、教職員が相互に協力し、信頼を深め、教育活動の充実を図ることができた。今年度も教職員の業務改善とともに、地域に開かれた学校にどのように実現していくかが課題になっていた。PTA主催の「麦っ子祭り」を充実させることができ、学校、PTA、地域の一体感を味わうことができ、新作小学校の特色通りの活気を生んだ。今後も、社会や近隣校の動向も踏まえながら現代の時代に応じたよりよい関係を保護者、地域と築いていきたい。現行指導要領の確かな理解と指導と評価の一体化をどのように進めていくかは課題である。授業研究の充実を図り、教職員の授業力向上を目指している。さらによりよい教育活動を行っていきたいという思いが教職員一人一人に高まってきている。今年度も特に若手の授業向上が顕著であった。子どもたちが落ち着いた学校生活を引き続き送るための学年、学級指導を充実させながら、安心・安全で楽しい学校生活を送ることができるよう今後も全力を尽くしたい。今年度も年度当初に立てた教育活動を予定通り実施することができた。